

課題名	SPLEEN VOLUME AND MORTALITY IN PNEUMOCOCCAL SEPSIS (肺炎球菌菌血症患者における脾臓の大きさと死亡率)
承認番号	2020-44 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 外科 氏名 甲斐 貴之
研究期間	(西暦) 2021 年 3 月 ~ (西暦) 2021 年 4 月
研究の意義・目的	脾臓摘出後や脾機能低下は、肺炎球菌のような有荚膜菌感染で重症化することが知られている。しかし脾臓の大きさが影響するかはよく研究されていない。本研究の目的は、肺炎球菌菌血症で脾臓のサイズが死亡のリスクとなるか調べることである。
研究の方法 (対象期間含む)	当院へ入院された患者さんのうち、2005年4月から2016年3月に血液培養で肺炎球菌が陽性となった、脾臓がCTで撮像されている18歳以上の患者さんを対象とし、脾臓のサイズをCTを用いで計測して死亡率との関連を調べます。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	診療録から収集したデータは本研究の目的のみに使用します。電子カルテのCT画像から脾臓サイズを測定し利用します。利用する情報は、匿名化を行い個人を特定できる情報は公表されません。
利用又は提供する 試料・情報の項目	CTで測定した脾臓サイズ 年齢、性別、既往、来院時採血データ
試料・情報を 利用する者の範囲	当院の研究担当者のみ
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	外科 甲斐貴之
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 外科 氏名 甲斐貴之 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101